

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一)内には、各会派等からの質問申出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	1人	65分
誠友会	1人	45分
無所属	3人	各30分



## \*録画放送の視聴方法

各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画が視聴できます。ふくやま市議会だよりには質疑の一部を掲載しておりますが、各議員は、ほかにも多くの項目にわたって質問し、議論を繰り広げました。ぜひご覧ください。

また、[福山市のホームページ](#)

→ [福山市議会](#) → [議会中継](#)

→ここからも視聴できます。

## 児童生徒への支援は



木村 素子  
水曜会  
(65分)



### 問

①不登校の児童生徒への指導に当たり、どのような取り組みをしているか。  
②通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への支援の取り組みは。また、ペアレントメンターとの連携の考えは。

### 答

①不登校の背景には、さまざまな要因が絡み合っており、状況は一人一人異なるため、アセスメントに基づく計画的な支援が重要である。校内、校外のフリースクールでは複数の職員で家庭環境等の情報を収集、共有して本人および保護者の思いや願いを踏まえて支援計画を作成し、取り組み状況を見ながら随時計画を修正している。  
②学校支援員が発達障がいを含むさまざまな困り感のある児童生徒を支援している。児童生徒の実態や在籍状況により、1校に複数配置することもある。発達に不安や悩みを抱える保護者が相談できるようなペアレントメンターの活用を福祉部と協議している。



自分らしさを育む場所を

## 福山城の今後の活用は



田口 裕司  
誠友会  
(45分)



### 問

①福山城築城400年記念事業で城泊の実証実験やイベント開催を通じ、多くのノウハウを積まれたと思われる。これまで、築城400年実行委員会が主体となって福山城でのイベントや活用を行ってきた。今後もこのような推進組織が必要と考えるが。

②本市には、新庄本郷ひんよう踊りをはじめ、水野勝成公も奨励したとされるはね踊りや地域の神楽保存会が多くある。それらを活用した取り組みは。

### 答

①今後は、福山観光コンベンション協会、福山商工会議所、本市の三者で構成する福山ビッグトアংশイションがその役割を担うこととなる。

②地域の伝統芸能は、今後も城泊を含め、さまざまな機会を通じて披露するなど、保存や担い手の育成に努める。



新庄本郷ひんよう踊りの様子

※ペアレントメンター：発達に障がいのある子どもを育てた経験がある保護者で、その育児経験を活かし、子どもが発達障がいのある診断を受けて間もない親などに対して、不安な気持ちに寄り添った心のサポートや相談・情報提供を行うボランティア